

## 在宅がん緩和ケアを担う医師及び看護師の人材育成事業について

## 1 事業の位置付け

千葉県地域医療再生計画 平成24年度補正予算

## 2 事業内容

在宅のがん緩和ケアの中核的・指導的役割を担う医師・看護師を養成するプログラムを開発し、在宅療養支援診療所やがん診療連携拠点病院の緩和ケア病棟及び緩和ケアチームにおいて、介護を含めたチームでのケアの実践を可能にするため、実地・実習を中心としたモデル研修を行う。

## 3 事業主体 千葉県がんセンター

## 4 事業期間 平成25年度～平成27年度

## 5 現在までの取組

年 度	内 容
平成25年度	○研修プログラムの概要を定めるための検討会議の実施
平成26年度	○在宅緩和ケアに携わる人材を養成するためのプログラム開発に必要なモデル診療の進め方等について検討を実施 ○緩和ケア関係者への在宅緩和ケア啓発活動として「緩和ケアを深めるためのセミナー」を開催 （対象）医療従事者等 （内容）「患者の主観的なQOLを基にする緩和ケア」 「自律支援のためのコミュニケーション」
平成27年度	○在宅緩和ケアの中核的・指導的役割を担う医師、看護師を養成するためのモデル診療を4月から9月までの6か月間実施する。 （モデル診療受講者数）医師1名、看護師1名 ○定期的なカンファレンスを開催し、指導医師、指導看護師による助言・指導を実施する。 （回数）4月から9月まで毎月1回 ○モデル診療の実践から得た成果から、習得すべき内容を明確にし、研修プログラムを作成する。 ○緩和ケアに関する講演会を実施する。

## 6 今後の展開（案）

今後急速に高齢化が進行する中、引続き、在宅のがん緩和ケアの中核的・指導的役割を担う人材の育成を継続することから、本事業の成果・検証を踏まえた上で医療介護総合確保基金等を活用した、後継事業の実施を検討する。